

# マルセイニュース 4月号

発行日 2018/4/24  
株式会社 マルセイ  
浦河町東町うしお1丁目  
〒057-0005 Ⅸ0146-22-5123

## “春”の訪れですね ..「華・花倶楽部」が春の花を植栽..



今年も春の花が大通りに植えられましたね。町を花でいっぱいにと16年続けられてきた「華・花倶楽部」の方々の活動です。浦河に移住されてきた方が何人も会員にいますよ。うれしいお話ですね。

華・花倶楽部の会員さんの他に、男性がたくさんいましたよ。共催先や町内の建設会社さん、信金さんからの参加者も加わって和やかな雰囲気の中での植栽でした。会員の方が管理を続けて美しい草花で町を彩ってくれます。ありがとうございます^^



「今日はきれいなんじゃない？」とマックスが言い...



## 目の前の山に、再び登ってみました！

マルセイの横にある山？ 4月17日(火) 午後2時ころ

2年前の3月31日に登頂した山に草が生い茂る前に登ろう！と、今回は社長とマックスの二人で登りました。以前の経験をいかして楽なルートから登頂～。(^^) 今回も、下で見上げながら写真を撮っていたらわふるが「バカだ～！ほんとバカだね～」って笑って話す声が聞こえていましたが、気持ちの良い眺望でしたよ^^



こんな所にまで来ているんですね。今回は急な斜面からではなく、鹿が歩いて作った「けもの道」を通して登りました。海も空も青くてきれいな日でした。

1、まずは1回目！数日前からアポイ登山のトレーニングのためにもこの山に毎日登ろうと公言していた社長。さてさて、続くのかな～ ^^



## (株)マルセイ 第41期の上半期も終了して・・・ 「社内勉強会」を再開しました

毎年の事ですが、売上げの少なくなる夏季をどう取り組んでいこうかと試案しています。目まぐるしく変化するニーズに対応しながら会社を続けていかなければなりません。若者たちを迎えてからは初めての「社内勉強会」です。



氣田兄弟がマルセイに来てからは、初めての社内勉強会です。色々考えたのですが、今回の教材はこちらです。



家電販売業界ではその名を知らない人はいない。でんかのヤマグチ、さんです。マチの小さな家電販売店なのですが、長年好調な業績をあげている会社です。近所に名だたる大手量販店チェーンがいくつもあるにも関わらず、地域の人たちに支持されています。その理由は何なのでしょう。一緒にDVDを見て勉強しました。

「超」地域密着戦略の経営で有名なでんかのヤマグチさんのことはわたしは以前から知っています。テレビでも見たりこのDVDも見て勉強していたのですが、初めて

「地域の方に喜ばれる店づくりを大切に」「地域密着の会社」から学ぶ

見る若者たちは果たしてどんな感想を持つのか興味深々でした。

「ヤマグチは地域の皆さまに貢献します！ヤマグチはトングで行きます！」と家電販売の枠にとらわれず、住まいのことは何でも対応して地域の方に喜ばれる店づくりを大切に役立つサービスをしている様子が紹介されます。見ている最中に、おぉー！とか、すごい！とか、思わず感嘆の声が上がりました。すっかり見終わってから、どうだった？と聞いてみました。

「あそこまで顧客サービスをやるんですね、スゴイです。」

「たしかに小さな会社は、値段で勝負しても大手上には勝てないことが分かりました。」という感想もありましたが、そのとおりですね。

来月もまた勉強会をしよう、次のテーマと教材を考えるのも、なかなか楽しいものです。

社長



## 安心してご利用いただけます！ 「マルセイの暮らしのサポート」

春の異動シーズンが一息。今年も引っ越しなどで出る家庭ゴミを収集運搬するご依頼をいただきました。「転勤が決まった時には、マルセイさんの暮らしのサポートを利用させていただこうって決めていました。よろしくお願いします！」こんなうれしいご依頼もありました。ありがとうございます^^

心新たに新年度を迎えている方も多いことと思いますが、皆さまいかがお過ごしですか？  
「転勤族」と呼ばれる人が多い浦河では、毎年決まって年度末のこの時期になるとお別れが付きものです。当社でも、今年もお客様とお別れがありました。新しい出会いに恵まれこともあるとはいえ、お別れというのは慣れず、さみしいものです。

### 最初で最後の ご利用にも うれしい出会いが

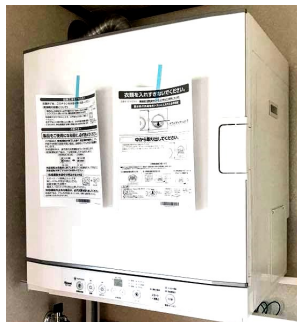
そんな中で、「マルセイさんの暮らしのサポートをお願いします！」と明るく弾んだ声で仕事の依頼をしてくれたお客様がいて、なんだかとても嬉しかったです。灯油の配送もLPガスの契約も他社をご利用されていた方でしたから、当社とは最初で最後のおつき合いです。でも、毎月ポスティングさせていただいていたマルセイニュースを楽しみにされていたそうなんです。ずっと前から、転勤する時には当社の暮らしのサポートを利用しよう決めていたとうれしそうに話し



てくださいました。ポスティングをしていたマックスの姿を見つけて走り寄り、「最後にお世話になります！」と声を掛けていただいたのも嬉しかったです。ご利用いただき、ありがとうございます。当社では今度まで何度

### 私たちにできる 暮らしのサポートを 続けます

サポートのご利用について、先ずはお気軽にご相談下さい。



## 『ガス乾燥機』を試用してみると…

# 「使うと手放せなくなるよ」ってホント！

『ガス乾燥機』を試用してみたら本当に良いです！ずっと使用していた人が、「使うと放せなくなる」と言っていたのは本当でした。毎日の家事が楽になる、とても便利なものだと思います。忙しいお母さんには本当におすすめしたいです♪

でも、正直言うともとても贅沢品に思えたり、特に必要もないかな〜と思っていったマックスでした。でも、使ってみたらガス乾燥機は本当にいいです！使うのに慣れてくるにつれて、その使い勝手の良さもわかってきました。が、何といたって家事の時間短縮になるのがうれしくて便利。洗濯↓乾燥↓

## ガス乾燥機は 使ってみると とても便利です

ガス乾燥機の乾燥コースは実に多様です。「標準」「エコ」「厚物」「デリケート」「シーツ・毛布」「アイロン」と衣類に合わせて最適なコース設定が色々用意されています。使用初心者のマックスは数あるコースの中、「標準」コースを選んで日常よく洗濯する普通の衣類（下着・タオル・シャツ）に試用していました。



ふんわりと乾燥してる感じが伝わるかな？

収納がとても早くなりました。だから、余裕が生まれます。これ、私もお試しではなく、わが家にも日常的に欲しくなっちゃいました。

## 毎日の家事の 時間短縮に

使い慣れた最近では、自分の好きなように使用設定することが多いです。私の場合、すっかり乾燥させずに程よく乾燥させて取り出し、自分の好きなように干しています。そうすると、しわもなく自分の納得する干しあがりになるのがうれしいからです。



こうして自分にとって使い勝手の良いやり方がわかってきた最近では、自分好みの乾燥運転時間を決めて使うのが楽しくなってきました。わが家で乾燥機を使うなんてことは夢にも思いませんでしたが、「使うと放せなくなるいいもの」というのは本当です。これからの湿度の高い季節を考える

と、より手放せなくなってしまうました。

## ふんわり仕上がる のも魅力です



洗濯物の干し上がり感がいいのが、また魅力です。繊維に空気を含まむことになるからでしょうか、生地がふっくらふんわりと仕上がります。社長が毎日着る定番のワークシャツも、まるでアイロンをかけたかのよう仕上がりになります。

アイロンなしでもOKになったので、これまた家事が楽になってうれしいですよ♪

『ガス乾燥機』は家事を助ける強い味方になること間違いない！と、私も実際に使ってみて確信しました。

だからこそ、子育て中で家事や仕事に追われているご家庭には、特におすすめしたいですね。

そこで、お客様にもぜひ家事の時間短縮を実現していただきたいと思い、当

社のガス契約のお客様限定で『ガス乾燥機』のリースを始めたと思います。使ってみていなあと関心のあるお客様は、どうぞお気軽に

## マルセイで ガス乾燥機の リース開始

マルセイまでお問い合わせください。

ところで社長。わが家でも、これからもガス乾燥機を使いたいです！だから早速、うちもリース契約をお願いしますね〜(笑)

**家事ハッピー!**

## ガス衣類乾燥機

**早い!**  
乾燥時間

**ふっくら**  
仕上り!

**お得**  
光熱費!

はやい 乾太くん

● 只今試用中の乾燥機です。ガス乾燥機は電気乾燥機に比べて、「乾燥時間が早い」のが特徴です。柔軟剤を入れなくても洗濯物がふわっふわになるので経済的ですよ ^^



## マルセイニュースの「ポスティング」をしませんか？

**募集担当地域：**「常盤町」「向が丘」  
(いずれかでもOKです)  
**配布時期：** 毎月22日頃から月末までの間  
(都合に合わせての配布OKです)

■毎月1回のお仕事です。  
空き時間を利用してのアルバイトにいかがでしょうか^^  
☎ 22-51231にお問い合わせください





裏店番のご主人・ひろしさん作の本棚の前で「店番になった、新しい出会いに感謝する日々です。」とけいさん。照れてますね^^



小さな本屋さんが復活！  
これからも「在り続ける本屋」を実現するには  
町のみなさんの協力と応援が必要です



# 「森の六畳書房」オープン！



昨年閉店した「六畳書房」が「森の六畳書房」と名前を変えて復活しました。「本屋を町からなくしてはいけない」と、店番を名乗り出てくれたのは町内の主婦・櫻井けいさん（64才）です。神奈川県から移住した櫻井さんご夫妻は昨年東町に家を建てたばかり。その自宅の居間を使い、取りあえず1年間を目標に毎週月曜に限り営業を始めています。古民家の六畳間から小さな森の中に場所を移して“在り続ける本屋”を目指しての再スタート♪ あらためて応援したいです！

最初の浦河地域おこし協力隊だった武藤拓也さんの声掛けで「町に本屋があつてほしい」と願うみんなの熱意で生まれた六畳書房でしたが、昨年11月に閉店。3年間の営業でした。初代店番だった武藤さんは、それでも浦河に本屋が

私が訪れたのは4回目の営業日、4月9日の午前中でしたが、お客様はいませんでした。店番の櫻井けいさんが、先週の今頃はとてにもぎやかだったと話してくれましたが、私の胸中には「また、最初だけの人気では」という不安が生まれてしまいました。

**オープン日は大盛況！でも、続けていくのに大切なのは「これから」**

3月19日。再オープン初日は70人のお客様が来店し33冊の本が売れました。その後も、春休み中の親子連れを中心に4月23日の5営業日までのほぼ一ヶ月で百冊以上の本が売れたそうです。



営業日は週に一日ですが、そのための準備や仕事の色々とあるはず。店番は今度も無報酬ですが、さつと櫻井さんの予想以上

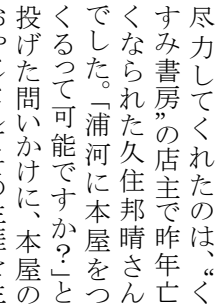


**移住した人を中心に力を寄せ合って 毎週月曜に営業**

小さな町の本屋復活のニュースは、本屋誕生の時と同じように新聞やテレビなどでも大きく紹介されました。本屋再開ということだけでなく、本屋をなくさない魅力ある町として、浦河町もアピールされていたように思います。でも、なくさずに続けていけるかと早くも心配な私です。

あつてほしい、「どなたかやってみたい」という方がいたら...と六畳書房を未来につないでくれる人を探していました。そこで、「うちの居間は14畳ほどあるし、自宅なら家賃もかからない。店長ではなく、週に一日の“店番”なら、私にもできるかもしれない。」と手を挙げてくれたのが櫻井けいさんでした。

「新しい本屋のモデルになる可能性がある」と六畳書房の誕生と運営に無償で尽力してくれたのは、「くすみ書房」の店主で昨年亡くなられた久住邦晴さんでした。「浦河に本屋をつくるって可能ですか？」と投げた問いかけに、本屋のおやじとしてその生涯を生きた久住さんが提案してくれたのが、次のような「コミュニティ本屋」の考えでした。

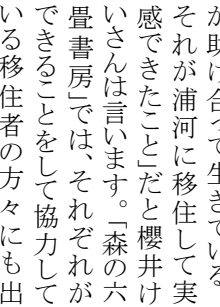


**「コミュニティ本屋」としてあり続けたい「六畳書房」**

閉店した「六畳書房」の場合、熱意で本屋を誕生させたものの守り続けることができませんでした。店番だけに負担を合わせてしまつては、町に本屋が在り続けることは今度も難しくなるでしょう。春休み期間にオープンした「森の六畳書房」には、夢中で絵本を手にする子どもたちの姿でいっぱいだったそうです。それを聞いて図書館があつても、やっぱり町には本屋があつたほうがいいと思います。

の仕事量だったのでは？再オープンからまだひとほどですが疲れてしまつてはいないでしょうか。

「小さな町だからみんなが助け合つて生きている、それが浦河に移住して実感できたこと」だと櫻井けいさんは言います。「森の六畳書房」では、それぞれができることをして協力している移住者の方々にも出会いました。「書店は“本を売る場所”ではなく、生前的のかもしれない」と生前



1、利益を求める商売として考えるのではなく、浦河に本屋が在る「こと」を目的としま

2、人が集まる「コミュニティ本屋」という新しい発想の本屋を作ります。  
3、浦河の子どもたちにも質本を提供できる、町民が自慢できる本屋を目指します。  
4、回転資金、仕入れ代金等は借金、リース、買掛金にはしないで、全て現金で決済します。  
5、資金調達は町民の出資を検討してください。  
6、賃料がゼロの場所を探してください。  
7、小さくスタートし成長する本屋にしていきたいと思います。

どうでしょう。提案のほとんどは実現。あとは、「成長する本屋にしていきたいと思います」という思いを共有し続けることだけです。本屋を誘致した留萌市では、なくさないために行政も市民も一体となつて利用しているそうですよ。



新店番のキャラクターデザインは町の人。ショップカードとブックカバーのデザインは、「六畳書房」と同じデザイナーさんが作成してくれました。新店番の苦しい計算も強力な助っ人が登場して解決。本のポップやイベント案内作りなども応援団が担当して大助かりしている「森の六畳書房」です。



〒057-0006  
北海道浦河郡浦河町  
東町かしわ3-296-50 櫻井宅  
毎週月曜日閉店10時～19時  
090-7216-6930 (櫻井けい・携帯)



# 7月21日(土) 浜町通りがにぎやかに 「うらフェス」開催決定！

「子どもたちに一生の思い出を！」



「浜町通りに、子どもたちとの新しい思い出を作ることができました！」と若いお母さんのうれしい一言。みんなで作った賑わいは最高でしたね。

## うらフェス 2018 出店・出展 募集開始

浜町通り商店街で1日限りのお店をひらきませんか？



「やってみたい」を「やってみよう」

2018年7月21日(土)に浜町通り商店街で開催される「うらフェス」！去年はたくさんのお客様にご来場いただきました。今年も歩行者天国となるこの「うらフェスマーケット」への出店者を大募集します！

趣味を活かした雑貨やハンドメイド商品の販売、特技を活かしたワークショップ茶道や華道、お習字などの作品展示や体験、お客様のお腹と心を満たす料理の提供など、あなたの「やってみたい」を形にしてみませんか？「こんな事できる？」「興味はあるけど…」など悩んでいること、困っている

ことがあれば、お気軽にご相談ください。一緒に楽しいお店を考えてみましょう！

【うらフェスマーケット詳細】  
日時 7月21日(土)11時~16時  
場所 浜町通り商店街  
※雨天決行

【お申し込み・お問い合わせ】  
実行委員 山口このみ ☎090-7659-0494  
ホームページ内のお問合せフォームからも受け付けております  
<https://www.urafes.com/>

うらフェス 2018 検索



内容	出店/出展料	スペース	備考
出店/出展ブース	1,000円	2m×2m	机レンタル可能(500円/1枚) テントレンタルは数に限りがあります
飲食店ブース	8,000円	5.4m×3.6m	保健所営業許可申請は出展者様でお願い します テント・机・椅子を準備できる方に限ります

今年も楽しみましょう！



横田実行委員長 山口事務局長

「子どもたちに一生の思い出を！」と、昨年初めて開催された「うらフェス」は、たくさんの方々の協力と多くの方々の協力で実現することができました。ストリートバンドの演奏やライブ、音楽あり、映画祭あり、そしてマーケット&ギャラリートークと盛りだくさんな企画が盛りだくさんです。

「うらフェス」は、今年も浜町通り商店街がにぎやかに開催されます。今年もたくさんのご来場を期待しています。今年も「やってみよう」を「やってみよう」に変わります。今年もたくさんのご来場を期待しています。今年も「やってみよう」を「やってみよう」に変わります。今年もたくさんのご来場を期待しています。

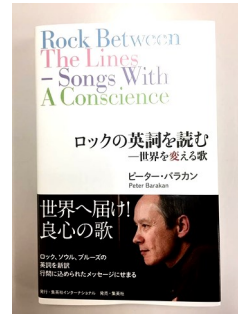


最近読んだ本の中より…

# 『ロックの英詞を読むー世界を変える歌』

ピーター・バラカン 著 (1951~)

「今日手紙をもらいました みんなのことがとても恋しいです みんなに会える日が待ち遠しいです 会える日までの日数を数えています この世の終わりにいいことがあるということを 信じ続けています  
そしてあさって僕はイリノイに帰るんだ」  
デイ・アフター・トゥモロウ トム・ウエイツ作  
(イラク戦争帰還兵の歌です)



ピーター・バラカンさんの本を紹介するのは二度目になります。昔からファンなんです。ピーターさんはラジオのパーソナリティを長年つとめていて、わたしは彼の番組を聴くのが好きなのです。とつても日本語の上手なイギリス人です。この本では、ロックを始めとした洋楽の有名曲の中から、強いメッセージを持った歌を20曲余りピーターさんが選び、訳詞とともに歌の背景を説明しています。東京に行ったときに読む本が手元に何もなくて、上野駅構内の本屋で購入したのですが、面白くてあつという間に読んでしまいました。

紹介されている歌の中には好きでよく聴くものもあれば初めて知る歌もありました。

## 英詞をあらためて知ると…

『イエス・ウィ・キャン・キャン』には驚きました。わたしはポインター・シスターズが歌うこの曲が大好きで、レコードを持っていたんです。P.シスターズは70~80年代に活躍した黒人の4姉妹で、まあ歌の上手いお姉さんたちでした。彼女たちはこの曲をじつに格好良く歌っていて、わたしは明るいラヴソングというかパーティソングみたいに思っていました。でも、「さあ、その時が来た力を合わせて争いをなくす時がそして兄弟のように生きようじゃないか やればできる そうさ、やればできる…」という意味の歌だったのです。今度あらためて聴いてみましょう。

笑ったのは、ランディ・ニューマンの『ポリテikal・サイエンス』です。こんな歌詞の歌です。

「みんな俺たちを嫌ってるな ぜだろ 完璧とはいかないが 一生懸命努力しているじゃないか だけど どこを見ても 昔の仲間でさえ俺たちを非難する だつたらいつそのこと 大きいのを落つこととして どうなるか見てみよう」  
こんな愚痴をこぼしているのは誰だと思えますか？アメリカなんです。『大きいのを落つこと』とは原爆のことです。2番はこうですよ。  
「金はばらまくけど、有り難がつてくれるか？ みんな噛みついてくるし、嫌みばかりを言う ちつとも尊敬してくれないなら、驚かしてやるぞ おつきのを落つこととして粉々にしてやるぞ」

ピアノの弾き語りによるきれいな曲なんです。こんな皮肉な内容だったとは全く知りませんでした。この曲が作られた1972年ころは、まさか将来トランプのような大統領が誕生するとは、予想できなかつたでしょう。あのトラ

「表現力のあるソングライターたちの歌を通じて、今の世の中で起きてくるさまざまな問題に対してどのような意見が生じ得るのかを伝えている」本書。その中で、ピーターさんはこんなことをつぶやいています。  
「J・ブラウンのこの曲で触れられた社会の状態は当時よりも明らかに悪化しており、普通の人たちが住みにくい世界が作り上げられようとしています…」  
残念ながらそのとおりです。今は、ジョン・レノンやS・ワウンダーが歌う「今より公正で平和な世の中を作ろうよ」なんて考えはぬるくて、「ズルくても嘘ついても、世の中は出し抜いた者勝ちなんだよ」という考えの方が人気があるようです。ここに取り上げられた名曲たちは、時代遅れなのではないでしょうか。いえ、そうではないはず。

社長

## 「人生100年」の時代を生きる

不思議なものです。自分が還暦を迎える年齢になったことを実感することが増えました。食欲を除いては、色々若者たちについていけなくなりました。(笑)パソコンの使い方もスマートフォンも、正直言ってこれから先が思いやられます。こうして、不便を感じるが増えていくのでしょうか。

### 3世代で祝った誕生日

3月は、お義母さんの92歳の誕生日を3世代で祝いました。明るい時間の食事会です。小鳥ほどのささやかな食事が摂れなくなった義母が、このときは良く食べてくれました。孫夫婦も一緒に食卓がうれしく、食事もおいしかったのでしょ。家族での幸せな食卓でした。

その一方で、102歳の伯母さんとお別れがありました。お通夜の席で初めて聞いたお話の数々。大正、昭和、平成と、一世紀以上を生き抜いた女性の人生に思いを馳せながら、その重みを感じた時間でした。

### それぞれの人生を…

不意に、永田克美さんのお話を思い出しました。15歳の少年がお国のためにと

志願して戦地へ向かっていた時代。改めて、15歳ってまだ子どもだなあと。そんな、子どもが戦地に向かった時代も、お義母さんも叔母さんも生き抜いてきたんですね。

多くの人が人生100年を生きる時代を迎えました。自分の人生をどう生き抜くか。まずは、これから先の5年をどう生きるか考えてみよう、と、断捨離始めました。^^

マックス



フライパンひとつで！  ガスでおいしくクッキング

## かに風味レタスチャーハン



シャキシャキの食感がたまらないレタスチャーハンを浦河産レタスで作りました♪ おいしい食感に作るには最後にレタスを入れて炒めすぎないこと。野菜もたっぷり入って、かに風味が効いたレタスチャーハンは美味しかったですよ～^^



### ●材料（2人前）

- かに風味かまぼこ 1パック
- 生姜(みじん切り) 1/2片
- 白ネギ(みじん切り) 1/4本
- ニンジン 1/4本→皮をむき、5mm角に切る
- 水煮タケノコ 1/4本→5mm角に切る
- ごはん(炊き立て) 茶碗3杯分
- 卵 1個
- レタス 1/4個→食べやすい大きさに手でちぎる
- サラダ油 適量

- 【調味料】
- 中華スープの素(顆粒) 適量
  - 酒 大さじ1
  - 塩こしょう・めんつゆ お好みで適量

### ●作り方（参照レシピ アイドルさっちゃんのチャーハン）

- 1、フライパンにサラダ油を入れ、生姜、白ネギを加えて香りが立ってきたら、ニンジン、水煮タケノコを加えて炒め合わせ、いったん取り出す。
- 2、フライパンにサラダ油(お好みでバター)を入れ、溶き卵を半熟に炒めて取り出しておく。
- 3、油を入れてご飯を入れ、切るように混ぜながらパラパラになるまで炒める。かに風味かまぼこ、1の具材を戻し入れて炒め、次に2の卵と【調味料】を加えてさらに炒める。
- 3、最後にレタスを加えてざっと混ぜ合わせ、塩こしょう、めんつゆで味を調えて器に盛る。紅しょうがはお好でトッピング ^^



## 今月も評価は、なーし！

「余裕がないのイヤだからね～」とさっちゃんこと坂本幸子さん。どうやら先月のマックスとのドタバタ調理ですっかり懲りたようです。今回はみんなが会社に戻って来た時にはすっかりできてるようにしようと、早めに調理スタート♪余裕の出来上がりになるはずでしたが…。

「あっ！ご飯柔かった！」とマックス。「え？チャーハンだからご飯は固めだよ」とさっちゃん。わかっています。でも、「最後に迷って加えたお水が多かったね～」と、今月もドジなマッ

クス。すると、「アイドル」というあだ名？が付いたさっちゃんが「どうしてそう余計なことばかりするかね～。なかなか学習しないね！」「こんなに葉っぱばかり入れてどうするの。馬じゃないし」などなど、ばわふるになりきって真似を始めました。このものまね、その後、それと全く同じ反応をばわふるがしたので思わず爆笑しちゃいましたね～。ハハハ

「あのやわらか～いご飯を持ってきてください！」だの、「キャーッ！ダメダメのフライパン！テフロン加工がすっかりはがれてる！私の腕が落ちる～！こんなのダメだー！」となんととも賑やかなアイドルクッキングでした。あ～、楽しかった^^



## おいしくて、たくさんお代わりしましたよ～♪



「芽が出そうだから！」とさっちゃんが作ってくれたコロッケもチャーハンもおいしかったこと♪今日も、みんなお昼から食べすぎでしたね ^^

### 一緒に作っていただきたい レタスとトマトのスープ

#### 材料(2人前)

- トマト… 1/2個 →縦4等分のくし形に切る
- レタスの葉… 2枚 →3～4cm四方にちぎる
- 洋風スープの素(チキン・固形)…1個
- 粉チーズ… 小さじ1
- オリーブオイル… 小さじ1
- 塩・こしょう… 適量



#### 作り方

- 1、鍋にオリーブオイルを入れ、中火で熱し、レタスをさっと炒める。
- 2、水カップ2にスープの素を加えて煮立て、塩、こしょうで味つける。トマトは直前に加えさっと煮る。粉チーズは盛り付けてから。

柔らかい？フフフ…いいのいいの。料理は楽しく作って、みんなでおいしく食べましょう～。

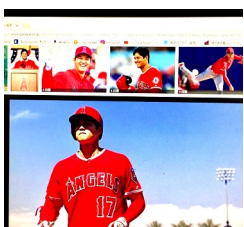


社長のちよつと長いコラム

『スポーツの話題あれこれ』

珍しくスポーツの話題です。このところいろいろなことがあります。まずはオリンピックです。ついこの間のことなのに、なんだか久しく前のことに感じられます。ジャンプ、スピードスケート、カーリングにフィギュアスケートと大活躍でした。固唾を飲んでテレビに向かう義母の姿と歓声が、もはや懐かしい。わたしの一番好きな冬季競技の観戦は、じつはアルペンスキーです。3、2、1というカウントダウンのあと、ゴーゴー！という声とともに飛び出していくスキーヤーの姿が、最高に格好いいなあと思うのですが、テレビであまりテレビ中継されないのが残念でした。

オリンピックが終わると、今度はあまり楽しくない話題がありました。女子レスリングのパワハラ問題と、大相撲の貴乃花理事を巡る騒動です。テレビでちらちらと見るだけなのですが、なんだか見苦しい。なんでこんなことが続くのかと思いつつも、正直あまりこの話題には関心がないので、詳しいことは今だに知りません。ただ、ニュース番組のトップに報道されるのは、かなり違和感をおぼえました。



4月に入ってから、なんといっても大谷翔平選手の大活躍ですね。まるで漫画じゃないですか。3戦連続のホームランにあわやパーフェクトピッチングで勝利なんて、出来すぎで漫画や小説なら「やり過ぎです」と、編集者に

ダメ出し食らうようなストーリーですよ。まあ、事実は何とかよりも奇なりです。このままシーズン通して活躍してくれたらうれいですがね。ベーブ・ルースと比べられるなんて、まったく漫画の世界みたいですね。ちなみに、これまでの日本人メジャーリーガーでわたしが一番好きなのは、野茂英雄さんです。尊敬しています。

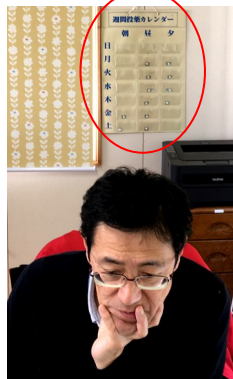
そして数日前にまたもやビッグ・ニュースがありました。サッカー日本代表監督のハリルホジッチ氏の解任です。わたしはサッカー観戦は好きな方なので、専門家がこれをどう評価しているのを知りたくて、けっこう記事を読みました。プロの見解も肯定と否定に真つ二つに分かれています。どちらの意見もなるほどと思わせます。どちらがあるのですが、わたしは解任否定派です。ハリルさんの手腕がどうこうではなく、(そんなことわたしに分かるはずもない)、誰かが仕事を失って喜ぶというのが、まじやだ。それに「予選を突破する」という与えられた仕事は、ちゃんとクリアした人です。サッカー協会の「勝つ可能性を1%でも2%でも上げるために監督を代える」という説明はもつとイヤでした。そんな2%のために組織が人を取っかえ引っかえしていたら、世の中めちゃくちゃになってしまいますよ。もしどこぞの経営者が、「君より2%の仕事が出来る人間を見つけたから、あしたで辞めてくれなんてことを言ったら、それこそお前はサイコパスか!」と言われても仕方ないですよ。それくらいおかしい理由だと、わたしは思います。

それにしてもサッカーファンのみならず、テストマッチの結果に厳しいですね。容赦ない(笑)。容赦ない環境で生きるのが好きな人もいるでしょうが、わたしはダメですね。自他共に認める、ぬるま湯派です。

さのぱわふる日記



「今日、俺って薬飲んだかな?」と社長。「さあ、私に聞かれなくても...」と私。頻度の高い会話である。そこで私は社長にプレゼント。見えますか? 社長の背後にある薬入れが。



どこに掛けたら良いかと思ひ、見ると恥ずかしいかなと配慮し、座った時に横に見えて、すぐ手が届く所に掛けようとしたら...

「そんな所だと見えないし...」「えっ?どこがいいの?まさか、こんな目立つ所に掛けてもいいの?」「お、そこでもいいわ!そこなら俺が忘れても誰かが気付いてくれるし」と言うわけで写真の場所に決定!

アイドルのさっちゃん、出勤した日は必ずチェックしてくれて、「社長、今日は飲んでますね。」と使用し始めて一週間が経った頃、「これ、いいね。うん、いいわ!残りの薬も持ってきて入れよう」と満足気な社長。そして、「これをいいと思うこと事態がなんと言うか、どうなんだか...」と呟く五十九才と十一か月の小山直。



そして、その嫁、小山祥子。

せつせと断捨離をしていると言って、こんなのが出てきたと持ってきたのが細かった若かりし頃のスカート。



写真を見て下さい。手と手の間が30センチはあったでしょう。ティッシュの箱を横に入れてみると、2、3センチ足りなくらいでしたよ。これを穿けていたなんて信じがたい事です。人間ってこんなにも変わってしまうのですね。あくおそろしや、おそろしや。

発行 株式会社マルセイ

灯油・プロパンガス販売・機器修理  
廃棄物収集運搬・暮らしのサポート事業

夏季期間(4月~9月) 定休日: 日曜・祝祭日 営業時間 8:30~6:00 土曜3:00



編集 おはなし家(マックス) 発行部数 3500部  
【Emailアドレス】 marusei.gs@gmail.com  
【マルセイブログ】 「マルセイブログ」で検索してください  
〒057-0005 浦河町東町うしお1丁目9-3  
TEL 0146-22-5123